

市民活動・ボランティア ニュース

2005年

3月

17号

平成17年2月25日発行
通巻75号

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

地域再生フォーラムinみえ「コミュニティビジネスと資金サポート」

NPOの運営にはさまざまな経費が必要となりますが、その資金源としては一般的に、会費や寄附金、事業収入、助成金・補助金などがあります。こうした資金源をいかに調達し、活用していくかがNPOの運営上、大切になってきますが、今回、この「資金」の問題に視点を合わせて、NPOの資金サポートの現状や様々な取組を紹介し、今後の資金サポートシステムを検討していくためのフォーラムを開催いたします。

【1日目】

シンポジウム (定員:200人)

●とき/3月20日(祝・日)開場正午～

●ところ/四日市市総合会館8階視聴覚室(近鉄四日市駅から徒歩5分、四日市市役所となり)

●参加条件/四日市の地域通貨である循環者ファンドを通じたNPOへの寄付(500円以上100円単位)会場前のロビーに循環者ファンド登録団体の紹介ブースを設置します。そこで団体を選んで寄付をさせていただくとお礼に「マネー」を発行します。」マネーは周辺の協力店や翌日のイベント循環者パラダイスでも使っていただけます。

PM1:05～PM1:55 三重県の資金サポートに関する活動の報告
PANDAファンド(三重県市民活動資金サポート研究会代表 酒谷宣幸さん)
循環者ファンド(循環者ファンド運営委員会 海山裕之さん)

PM2:00～PM3:00 全国のコミュニティビジネスの現状についての講演
コミュニティビジネス・ネットワーク理事長 細内信孝さん

PM3:00～PM4:25 パネルディスカッション「コミュニティファンドの可能性」
パネリスト…細内 信孝さん
えにし屋代表 清水義晴さん
四日市大学総合政策学部教授 岩崎恭典さん
(株)三重銀総研調査部部长 筒井 真さん
コーディネーター…中間法人コミュニティファンド育成ステーション代表 片岡 勝さん

PM5:00～PM7:30 交流会(要予約 場所:よっかいち創造プラザ・こらぼ屋)
ゲスト:「こども四日市」実行委員会 野村愛一郎さん
参加費(1,000円+200円)

【2日目】

Jマネー体験イベント「循環者パラダイス」(参加無料)

●とき/3月21日(振・月)AM10:00～PM3:00

●ところ/よっかいち創造プラザ・こらぼ屋とその周辺商店街

●内容/・Jファンド登録団体のパネル展示と寄付の受け入れ

・100%Jマネー体験ショップ(寄付してもらったJマネーを使ってみよう)

こらぼ屋のシェフによる地産地消メニュー、地場産屋台、市民からのリサイクル品

ケータリングサービス、健康相談(血圧測定、体脂肪測定など)、リラクゼーション

・全国のコミュニティビジネス紹介ブース

・シンセサイザー 矢吹紫帆コンサート

●問い合わせ先/よっかいち創造プラザ(担当:海山・森田) Tel.0593-54-6001

(受付AM9:00～PM5:00 日曜定休)

●主催/三重県、四日市創造ネットワーク

地域通貨「Jマネー」しか
使えない
「循環者パラダイス」へ
ようこそ!

つながる 1 県ボランティアセンター 北出真由美

三重県ボランティアセンターに勤務し始めて、はや、1ヶ月が経ちました。その間にボランティアコーディネーターの会議、研修会などがたて続けにありました。こういった会議が行われる時は、ほとんどの場合は内容を録音し、議事録を作るときの参考になります。議事録を作成しながら、そのテープを聞いていると、感情が声に出ることを実感します。会議の場なので、それほど大きな抑揚はないのですが、時には次に出てくるであろう言葉を予測できずし、間合いいにも意味があることに気がきます。コーディネーターの仕事は、人の話を聞き、それをまた誰かに伝えていくことからすべてが始まっています。そんな仕事をしていくうえで、このテープ起こしはいい勉強になります。しかし、会議が多いと机の引き出しにテープの山ができていくのも、また事実です。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

◆発行◆
514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動にユースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバレス3階) / オールウェイズ(津センターバレス1階) / 津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央) / (有)デザインオフィス秋野(津市大谷町301-1) / 市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15) / 南勢町市民活動室連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917 町民文化会館内) / 特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市一色町2) / 鳥羽NPOネットワークセンター・結(鳥羽市鳥羽1-3-8) / 特定非営利活動法人みえきた市民活動センター(桑名市田町33) / 四日市市民活動センター(四日市市蔵町4-17) / 寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19) / ウィリアム テルズ・アップル まちづくりセンター(伊賀市小玉町3045-1) / みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階) / 伊賀市中央公民館 / 伊賀市立図書館 / 伊賀市民ITサポートセンター((特)平成・伊賀@LAN事務所) / 上野青年会議所 / 名張市立図書館 / 名張青年会議所 / 皇学館大学名張キャンパス / 名張市総合福祉センター / エコリゾート赤目の森(名張市上三谷268-1) / 明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5) / 松阪大学(松阪市久保町1846) / 松阪市市民活動センター(松阪市日野町788) / 名張市市民活動センター(名張市夏見2812) / 松阪まちづくりセンター「まちの駅松阪」(松阪市本町2217)

【地域の社会福祉協議会】県内49の市町村社会福祉協議会
【金融機関】百五銀行各店 / 三重銀行各店 / 東海労働金庫各店
【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広町13) / 三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南) / 三重県民サービスセンター(情報公開窓口) / 三重県総合医療センター / 三重県立一志病院 / 三重県立志摩病院 / 三重県立こころの医療センター / 富貴歴史博物館 / 三重県立博物館 / 三重県立図書館 / 三重県生涯学習センター / 三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」 / 三重県人権センター / 三重県身体障害者総合福祉センター / 三重県環境学習情報センター / 各市町村役場

現場で体験NPO!

みえ市民活動ボランティアセンターでは、二月から三月にかけて、県職員向けに「現場で体験NPO研修」(五回シリーズ)を実施しました。研修の目的は、社会の新しい担い手の一つであるNPOの活動現場を実際に体験してもらい、協働の可能性、ヒントや課題等を今後の事業立案に反映してもらおうというものです。また、今回の研修では県内各地に点在するNPOを応援する中間支援センターの存在もクローズアップしました。また、その地域で活動するNPOを選んでテーマごとに区切り、四日市、松阪、津、名張、伊賀、伊勢の各市及び明和町へ足を運びました。私はそのうち第一回、二回の研修を担当しましたが、研修後の参加者アンケートを読んでみると「同じ地域に住んでいるのに全く知らなかった」「今回、NPOのことがよく分かった」「ぜひ職場に持ち帰りたい」などの感想が多く寄せられました。来年度から県はNPO等との協働事業を全庁的規模で取り組んでいく方針です。よって職員ひとりひとりが、県内のNPOの現状などを学ぼうとする姿勢が、ますます重要になってくるのではないかと思います。



明和町市民活動サポートセンター 松阪市市民活動センター



NPO法人うへの郷クラブ まちの駅松阪・寸庵

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は9団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民局生活環境森林部に備置してあります。

●認証申請団体

- (1) 名称(2) 代表者氏名(3) 法人事務所の所在地
- (1) 別山安全なまちづくり推進委員会(2) 伊藤嗣也(3) 四日市市別山四丁目1313番地
- (1) 和嬉会愛(2) 中山登貴(3) 名張市つつじか丘南5番町138番地
- (1) 地域と自然(2) 中西崇雄(3) 名張市安部田2853番地の13
- (1) MMC三重カウンセリングセンター(2) 井口富春(3) 津市半田川田町548番地の1
- (1) NPO伊勢志摩サポート協会(2) 西井一浩(3) 志摩市阿児町鶴方3195番地17
- (1) グループホーム滝原(2) 小関辰夫(3) 度会郡大紀町滝原825番地8
- (1) あのう国際文化交流センター(2) 松田光泰(3) 安芸郡安濃町大字田端上野818番地
- (1) 夢街道おお(2) 恒川善徳(3) 伊賀市阿保1417番地の1
- (1) 芝生の夢倶楽部(2) 加藤光一(3) 伊勢市楠部町248番地1
(平成17年1月13日~平成17年2月14日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 特定非営利活動法人 国際規格食品安全審査認証協議会(17年1月21日)
- 特定非営利活動法人 いたか(16年10月29日)
- 特定非営利活動法人 まちづくり桐ヶ丘(16年12月14日)
- 特定非営利活動法人 竹姫会(17年1月18日)
- 特定非営利活動法人 共榮しらとりの会(17年1月18日)
- 特定非営利活動法人 SKY(17年1月12日)
- 特定非営利活動法人 楠スポーツクラブ(17年1月6日)
- 特定非営利活動法人 日本徒手空拳道連盟 優真会(17年2月3日)
(平成17年1月13日~平成17年2月14日届出分)

■みえ市民活動ボランティアセンター職員募集!

みえ市民活動ボランティアセンターでは、平成17年4月1日から勤務をしていただける嘱託員(市民プロデューサー)を募集しています。仕事の内容は、みえ市民活動ボランティアセンターで県民交流センターの運営維持管理や県民交流センターを活用して市民活動のサポートを行っていくことです。もちろん、自分でなにか企画をしてこれからの市民社会について提案を行っていく活動をしていただいてもかまいません。

8人の交代制で、昼は、NPO室等職員がサポートしますし、夜や土日祝日は2人体制です。

市民活動やボランティアに興味のある方は、ぜひ、以下までお問い合わせください。

- 受付期間/平成17年2月25日(金)~平成17年3月4日(金)
(なお、申込み多数の場合は、締切を早めます。)

- 受付時間/平日午前9時30分~午後5時まで
- 面接予定日/平成17年3月10日
- 問い合わせ先/津市羽所町700 アスト津3階 県生活部NPO室 Tel.059-222-5981

イベントスケジュール

平成16年度子育て支援ボランティア研修会+交流会

- とき/3月5日(土) AM10:00~PM4:00(予定)
- ところ/三重県社会福祉会館3階
(津市桜橋2丁目131・Tel.059-227-5145)
- 内容/子育て支援ボランティアの方と、未就学児とその保護者を対象に子育て支援や地域福祉に取り組んでいるサービス提供者の方が各々の使命・役割・責任や目的などを理解・共有するひとつの場として相互の情報交換・交流会を実施するとともに、「あそび」のキーワードに、子育て支援ボランティアとして実践にいかせる知識および技能の修得を目的として開催します。
- 【午前の部・交流会】「参加者同士の情報交換・活動紹介」
- 【午後の部・研修会】『「あそび」と「おもちゃ」そして子どもへの関わりについて』~子育て支援ボランティアとして明日から使える「あそび」の極意~(仮称)講師は、KID'Sいわき・ばふ代表・日本こどもの発達研究所講師の岩城敏之さんです。
- 募集人数/100人(先着順) ●応募締切/2月28日(月)
- 申込方法/申込書を下記までFaxするか、E-mailで申込。
- 申込・問い合わせ先/津市羽所町700アスト津3階 三重県ボランティアセンター(担当:積木、北出、中) Tel.059-229-6634 Fax.059-229-6635 E-mail mvc@miewel.or.jp

青春キネマ館 『若い人』

- とき/3月8日(火) AM11:00~、PM2:00~、PM8:00~
(1日のみ3回限定上映)
- ところ/伊勢進富座(旧レック・伊勢東映) ●参加費/800円
- 内容/青春キネマ館は、懐かしい日本映画を“映画館”で観てもらおうという企画です。今回上映する『若い人』は、複雑な家庭環境に育った女子高生、江波恵子の多感な日々を描いた青春ドラマ。恵子を吉永小百合が演じ、彼女が思いを寄せる教師に石原裕次郎、彼と互いに惹かれあう女教師に浅丘ルリ子が扮するという、豪華キャストでお贈りします。
- 申込・問い合わせ先/青春キネマ館&キッズシアター実行委員会 Tel.0596-23-0839(受付時間:PM7:00~PM10:00)

アフガニスタンの女性との交流会

- とき/3月10日(木) PM6:30~PM9:00(予定)
- ところ/みえ県民交流センター イベント情報コーナー
- 参加費/無料(来日女性の団体の活動にカンパ歓迎)
- 内容/軍閥割拠、ソ連の侵攻、アメリカの攻撃…。国全体がさまざまな受難にさらされてきたアフガニスタンですが、その権力体制がどう変わろうとも一貫して変わらなかったのが女たちへの圧政でした。しかし、そういう社会にあって、アフガンの女性たちは、ブルカの下で、ただただ耐え、泣いていただけではありません!9.11の報復と称するアメリカのすさまじい攻撃を受けた2001年より、25年

も前の1977年に、当時20歳だったひとりの女性によって設立された「女性の手で国を変えよう!」という意味の名称の団体があります。女性が男性と同じように人として大切にされる社会を作ること

を目的に、果敢で繊細な活動を続けてきました。女が堂々と行ける学校や病院の建設、孤児院の設立、「売春」からの救出、職業指導等々…を迫害に耐えながら積み重ねてきた団体の女性が、日本の女性との連帯を求めて訪日します。全国10か所ほどで開かれる交流会のひとつを三重でも開催します。

●問い合わせ先/宮西いつみ 携帯Tel.090-1239-1410

バルーン工作体験

●とき/3月10日(木) PM6:30~PM7:00
●ところ/松阪市平生町 ゆめの樹通り商店街 ポケットパーク前
●参加費/無料(パフォーマンス観覧も無料)

●内容/風船で動物などをつくるバルーンアートの作り方を覚えませんか?難しそうに見えますが、コツを覚えてもらえば大丈夫。活用方法はボランティアのイベントやまちづくりのほか、看護師や保育士の方が職場でのコミュニケーションに活用してもらうなど、いろいろです。参加資格は15~35歳の方、学生さん大歓迎です。講師は岐阜県でバルーンショップを経営する香田英一さん。当日は香田さんのダイナミックなバルーンパフォーマンスも披露します。観覧は無料。時間はPM5:30~とPM7:30~の2回です。

●募集人数/先着50人 ●応募締切/3月5日(土)

●申込方法/E-mailのみ。携帯電話からでも大丈夫です。参加希望者の「住所、氏名、年齢、電話番号」を送信してください。

●主催・申込・問い合わせ先/チャンネルM

E-mail ch-m@m5.dion.ne.jp

第2回♣セントパトリックスデーパレード伊勢

●とき/3月12日(土) 正午集合(雨天決行)

●ところ/伊勢神宮外宮まが玉池付近集合 ●参加費/無料

●内容/「アイルランドをみんなにもっと知ってもらおう!」と『伊勢志摩の特産物(みえのカキ)と、アイルランドのカキの交流から相互の文化交流を目指し、アイルランドのお祭りを通じて国際交流につなげます。』アイルランドの国花(シャムロック)とアイルランドカラーの“緑色”を身につけ、春の訪れを祝い、音楽と踊りに彩られた緑の国(アイルランド)のお祭りを、伊勢市内にてパレードします。アイルランドに興味のある方!一緒にパレードを楽しみませんか?パレード参加者、ボランティアスタッフも募集しています。

【同時開催「カキのアイデア料理コンテスト」】

●とき/3月12日(土) PM1:30~PM4:30

●ところ/伊勢市駅前広場(雨天時 伊勢高柳商店街)

●内容/投票していただいた方(先着300人)に「みえのカキ特製マウスパッド」プレゼント!詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.pref.mie.jp/NHOKEN/kaki/contest.htm>

●申込・問い合わせ先/伊勢市岩渕2-3-14(遊酒べー内) アイリッシュ ネットワーク ジャパン 伊勢パレード実行委員会
Tel.0596-27-3222

内閣府青年国際交流事業

平成16年度参加青年による帰国報告会 並びに平成17年度事業説明会

●とき/3月12日(土) PM2:00~

●ところ/アスト津3階オープンスペース ●参加費/無料

●内容/内閣府主催の青年国際交流事業への参加者を募集します。参加青年による体験談から、国際交流に触れてみませんか?参加対象は国際交流に興味のある方ならどなたでも。但し、内閣府事業への申込要件は18歳~30歳の青年であることです。

●申込方法/できれば事前にE-mailで申込を。当日参加も可能。

●申込・問い合わせ先/三重県青年国際交流機構(IYEO三重)

携帯Tel.090-5003-4203(担当:北田)

E-mail keictdif@msn.com(担当:中島)

シンポジウム~「さかのの国」公聴講座~

~生きものいっぱいの里地里海を未来の子どもたちに~

●とき/3月13日(日) AM10:00~PM4:30 ●参加費/無料

●ところ/三重県人権センター多目的ホール(津市一身田大古曾)

●内容/地球上には実に種々様々な生き物が生息し、互いに働きかけあって独特のつながりを形作っています。多様性が失われた後で

それを復元しようとしても簡単には行きません。私たちはいま、さまざまな活動をつなぎあって、すっかり切れかかっている物質循環の環、生態系のつながりと多様性が回復に向かうよう、きめ細かい事業展開や活動を心がける必要があります。今回のシンポジウムを契機に山・川・海の連携の大切さを再認識しましょう。なお、シンポジウムのテーマに対する提案や基調講演に関する質問も募集しています。

【プログラム】

AM10:15~AM11:45

基調講演1『海から陸をみれば』

宮原九一(三重県漁業協同組合連合会名誉会長)

PM12:30~PM2:00

基調講演2『耕さない田んぼで水の浄化を

~生きものいっぱいの里地里海を未来の子どもたちに贈る~』

岩澤信夫(日本不耕起栽培普及会会長)

PM2:10~PM4:30

鼎談『~生きものいっぱいの里地里海を未来の子どもたちに~』

コーディネーター…井上祥一郎(信州大学非常勤講師、伊勢・三河湾 流域ネットワーク代表世話人)・岩澤信夫・原田泰志(三重大学生物資源学部教授)

●募集人数/150人(先着順) ●応募締切/3月11日(金)

●申込方法/住所、氏名、電話番号を記入し、下記まで郵送、Fax、E-mailにて。提案、質問も同様。提案の締切は2月28日(月)。

●申込・問い合わせ先/514-8570 津市広明町13番地

県農水商工部水産室 Tel.059-224-2584

Fax.059-224-2608 E-mail miemirai@sea.pref.mie.jp

ホームページ <http://www.sea.pref.mie.jp/>

●主催/三重県

高齢者疑似体験セミナー

●とき/3月15日(火) PM1:30~PM4:30

●ところ/三重県総合文化センター生涯学習センター4階小研修室

●内容/特殊眼鏡、手足の重りなどを装着して、80歳になった時の心身の変化を体験します。自らの加齢体験を通して高齢者の心身状況を知り、高齢期の生活上の課題を理解することができます。

●申込方法/電話、Faxにて。 ●参加費/1500円

●申込・問い合わせ先/一志郡一志町高野969-8 長寿社会の住まいと暮らしを考える会(担当:木下) Tel.059-293-3682

Fax.059-293-3696

男女共同参画講演会

~女男(みんな)が輝く亀山市を目指して!~

●とき/3月19日(土) PM1:30~PM:3:30

●ところ/亀山市青少年研修センター1階集会場

(亀山市若山町7-10) ●参加費/入場無料

●内容/いどばたクラブ(亀山市男女共同参画推進講座企画会議)と亀山市が、女性も男性も共に参画し、輝く亀山を目指し開催。

【プログラム】

PM1:35 寸劇(いどばたクラブ)

PM1:45 活動報告(いどばたクラブ)

PM3:55 講演「今なぜ男女共同参画社会なのか」

伊藤公雄さん(大阪大学大学院人間科学研究科教授)

●応募締切/託児締切3月4日(金) 要電話予約

●申込・問い合わせ先/亀山市市民課市民参画女性係

Tel.0595-84-5007

●主催/いどばたクラブ、亀山市

知るう!学ぼう!深めよう!ユニバーサルデザイン

いがユニバーサルデザイン研究会 第②回講座

●とき/3月19日(土) PM1:30~PM4:00

●ところ/伊賀市いがまち保健福祉センター 愛の里

●参加費/無料(申込不要)

●内容/今回のテーマは「浜松市におけるユニバーサルデザイン~思いやりの心が結ぶやさしいまちの実現を目指して~」。講師は浜松市役所企画部企画課ユニバーサルデザイン室の室長、高林輝久さんです。

●問い合わせ先/いがユニバーサルデザイン研究会(孫 美知)

Tel.&Fax.0595-23-9513

ホームページ <http://www.doumu.net/UDAiga.htm>

●主催/NPOバリアフリースタジオ「同夢」、伊賀市社会福祉協議会

市民プロデューサー企画
アストdeサロン・三重のオモシロ裏話
「車いすマラソンでアテネに挑む!!」

- とき/3月20日(日) PM1:00~PM3:00
- ところ/みえ市民活動ボランティアセンター(アスト津3階)
- 参加費/200円(コーヒー&お菓子付)要予約
- 内容/ゲストの伊藤智也さんはアテネパラリンピック陸上競技代表。中枢神経が冒され、筋肉が動かなくなる難病「多発性硬化症」を患いながらも、世界の記録に挑戦し続けています。伊藤さんには、昨年のアテネパラリンピックの舞台裏や理事長を務めているNPO法人ゴールドアスリーツの活動などをお話していただきます。
- 申込・問い合わせ先/みえ市民活動ボランティアセンター 市民プロデューサー Tel.059-222-5995 ax.059-222-5971 E-mail center@mienpo.net

第6回佐々木正美先生講演会
心の育ちにおいて大切な事 乳幼児期～思春期

- とき/3月21日(祝・月) AM9:15受付 AM10:00~PM3:45
- ところ/伊勢市観光文化会館4階大会議室 (近鉄宇治山田駅正面 Tel.0596-28-5105)
- 聴講料/前売2000円 当日2200円
- 内容/テーマは自閉症スペクトラム障害の子どもたちの“心の発達”。“自閉症”や“ADHD”等と診断を受けると、とかくその子らしさに気づく事なくその障害特性にのみ注意が向きがちです。子どもを丸ごと受け止める、理解する、そして育てていく…。その事が、子どもの健やかな心の発達・成長にどの様に大切なのでしょうか?乳幼児期から思春期それぞれの心の発達過程において大切な事柄、そして心の発達理論についてお話していただきます。
- 応募締切/3月18日(金)
- 申込方法/聴講料を郵便局にて、下記の振替口座に振り込む。受領証が聴講券となりますので、当日、受付で呈示してください。郵便振替口座:00870-0-124326 加入者名:佐々木正美先生講演実行委員会
- 問い合わせ先/度会郡御園村高向682 風の広場 Tel.&Fax.0596-29-0325 (受付:PM5:30~PM7:00、土日祝日は休業)

生命(いのち)のメッセージ展in三重

- とき/3月25日(金)~27日(日) AM10:00~PM5:00 (最終日はPM4:00)
- 参加費/入場無料
- ところ/アスト津4階ホール(津市羽所町700)
- 内容/犯罪・交通事故などにより亡くなった人々の写真とメッセージを「人型」に貼付し、生きた証である「靴」を置き、命の大切さ・重さを伝える展示です。「何が一番大切か?」ぜひ、来場して自分の心に問いかけてみてください。
- 問い合わせ先/鷲見三重子 Tel.0594-76-7338
- 主催/「生命のメッセージ展」実行委員会
- ホームページ <http://www.inochi-message.com/>
- 「生命のメッセージ展in三重」実行委員会
- ホームページ <http://mieinochi.fc2web.com/>

宇陀川調査隊、簡易生態系調査指導者養成講座
宇陀川の生態系を知り、生態系調査を知ろう!

- とき/4月10日(日) 宇陀川調査AM9:30~正午 養成講座PM1:00~3:30
- ところ/名張市錦生公民館集合解散、宇陀川河川敷と錦生公民館
- 参加費/養成講座は500円
- 内容/年4回宇陀川の調査を通して宇陀川を知り、簡易生態系調査の指導者を養成します。河川概況、魚、水生生物、植物の調査(今回の重点項目:植物)
- 申込・問い合わせ先/名張市安部田2853-13 地域と自然(名張と自然)川の会・名張 Tel.&Fax.0595-61-1283 E-mail yosshi@e-net.or.jp
- ホームページ <http://www.e-net.or.jp/user/yosshi/>

ネットワークのよびかけ

- 宣長まつり イベント企画、運営メンバー募集中**
 今回から新規に募集するメンバーで、宣長まつりの新しい一面を作り出すことになりました。只今、イベント企画、運営に協力してくれる仲間を募集しています。募集対象は15歳~35歳。イベントが初めての方でも関わってもらいやすい内容です。寸劇、デザイン、子供たち向けの工作など得意な分野で協力してください。少しでも興味ある方、まずはご連絡下さい。
- 募集期間/3月末まで
 - 【宣長まつり】
 - とき/5月7日(土) AM10:00~(予定) ●ところ/松阪城公園
 - 問い合わせ先/宣長まつり実行委員会「みんなの宣長」部会 (担当:チャンネルM・米山) 携帯Tel.090-3385-6958 E-mail ch-m@m5.dion.ne.jp

エコツアー体験モニター募集

東紀州地域は、日本書紀にも登場する地域があり、日本のルーツがあちこちに残る地域です。私たち東紀州エコツーリズム研究会は、平成15年10月からエコツーリズムセミナーを実施してきました。このツアーは、地域の人とのふれあいや地元の食文化、昔と今のつながりを感じられることを大切にしていますが、訪れる方の視点からこのツアーをもっと良くしていくための助言を得たいと思っています。具体的には、私たちが主催するエコツアー体験モニターになっていただいて、どこでエコツアーがあるかをご案内し、都合があれば参加して欲しいとおもいます。そして、その後に良かったこと、悪かったことを訪れる人の視線で教えていただけませんか。参加料は、無料ではありません。費用は実費程度をいただきますが、あまったとしてもエコツアーガイドを育てるために使用いたします。エコツアー体験モニターとして、に参加していただけたら、地元の人とわいわいがやがやと本音で話せる楽しい時間を共有できて、普通のツアーよりも新鮮だ感じられると思います。多くの方と楽しい時間をすごせるよう、ご参加をお待ちしています。

- 問い合わせ先/尾鷲市泉町14-6 東紀州エコツーリズム研究会 (会長:永井崇郁) 携帯Tel.090-3578-7589 E-mail takafumi2000@hotmail.com
- ホームページ <http://eco-kuma.hp.infoseek.co.jp/index.html>

フリーマーケット情報

- 「フリーマーケットin四日市ドーム vol.17」
- とき/3月6日(日) AM10:00~PM4:00
 - ところ/四日市ドーム(四日市市大字羽津甲5169)
 - 入場料/前売315円 当日525円
 - 内容/ブース数750というビッグなフリーマーケット。会場内はデポジット制を採用しています。共催はFM三重。
 - 問い合わせ先/510-0071 四日市市東日野町1288-73 特定非営利活動法人MFA
 - Tel.0593-20-0133
 - Fax.0593-20-0134
 - ホームページ <http://www.mfa.gr.jp/>



助成金 ニュース

平成17年度三重県文化振興基金活用事業

- 受付締切/3月11日(金) ※平成17年度の募集については、この期間のみ受付期間となっていますのでご注意ください。
- 助成の対象となる団体/県内の文化団体(実行委員会形式を含む)で、次の要件に適合するもの。 1、県内に住所または活動の本拠を有すること。 2、一定の規約等を有し、代表者が明らかであること。 3、団体の意志を決定し、執行する組織が確立していること。 4、自ら経理し、監査する等会計組織を有すること。 5、継続して活動を行う見込みの団体であること。
- 助成の対象となる活動/自ら企画して行う創造的な活動で、次の要件を満たすもの。 1、営利を目的とするものでないこと。 2、特定の政党もしくは政治的団体又は宗教のための活動でないこと。 3、県の負担金又は補助金を

受けないものであること。4、広く県民一般を参加対象とした活動であること。5、平成17年4月1日から平成18年3月31日までに実施される活動であること。6、環境に配慮するとともに、障害者、高齢者、子ども、外国人など誰でも参加できる活動であること

●助成の額／事業の実施に直接要する経費から入場料、参加料、他の補助金や助成金、協賛等のその他の収入を差し引いた、団体の自己負担額の2分の1以内で上限20万円。

●応募方法／各団体の事務所等の所在する県民局生活環境森林部(生活環境(生活)室)へ申請。様式は市町村の文化担当課や各県民局の生活環境部で入手するか、三重県のホームページからダウンロード。(トップページの申請届出様式ダウンロード 所属別一覧「文化振興室」または分類別一覧「教育・文化」を選択)

●問い合わせ先／514-8570 県生活部文化振興室
Tel.059-224-2176 Fax.059-224-2408
ホームページ <http://www.pref.mie.jp/>

第3回パートナーシップ大賞

●受付締切／3月15日(火)PM6:00必着
●応募条件／現在継続中および事業終了後3年以内のもの。自薦および第三者による推薦。(どちらの場合も、事業実施NPOおよび企業双方の理解が得られていることを条件とします)

※協働事業ごとの応募となりますので、1NPOまた1企業(事業所可)が複数の協働事業について、それぞれ応募することも可能。NP Oおよび企業のいずれについても事業所単位の応募も可能。

●対象となる活動／日本に所在するNPO(法人格の有無不問)と企業との協働事業。

●応募方法／応募用紙はホームページからダウンロード。郵送希望の場合は角2の返信用封筒に送付先を記入のうえ、360円分の切手を添えて下記まで。

●問い合わせ先／特定非営利活動法人 パートナーシップ・サポートセンター「パートナーシップ対象募集係」(担当:野田)
464-0848 名古屋市中千種区春岡1-1-5 2B
Tel.052-762-0401 Fax.052-762-0407
E-mail info@psc.or.jp ホームページ <http://psc.or.jp>

平成17年度国際ボランティア貯金の寄附金配分団体公募

●受付締切／3月15日(火)当日消印有効
●助成の対象となる団体／次の要件をすべて満たしていること。

- 1、民間の発意に基づく開発途上にある海外の地域の住民の福祉の向上に寄与するための援助(天災その他、非常の災害が生じた場合におけるその災害を受けた海外の地域の住民の緊急の需要を満たすための援助を含む)に関する事業を実施する、営利を目的としない民間の団体であること。
- 2、日本国内に事務所を置き、かつ、代表者が定められ、意志決定及び活動の責任の所在が明確であること。

●対象事業の期間／平成17年7月1日(金)～平成18年6月30日(金)
●応募方法等／配分申請書は電話またはE-mailにて、住所、氏名、会の名称、電話番号、希望の送付方法(郵送またはE-mailに添付)を下記まで連絡するか、ホームページよりダウンロードして使用。応募は申請書に添付資料を添えて、配達記録郵便にて送付。

●問い合わせ先／日本郵政公社 金融総本部 郵便貯金事業本部 ボラ

ンティア貯金・お客さま相談担当 100-8798 東京都千代田区霞が関1-3-2 Tel.03-3504-4137 Fax.03-3580-5139
E-mail ax000052@japanpost.jp
ホームページ <http://www.yu-cho.japanpost.jp/volunteer-post/>

ヤマト福祉財団 障がい者福祉助成金

●受付期間／3月1日(火)～3月31日(木)消印有効
但し、奨学金の供与受付は5月10日(火)まで
●助成の対象／障害者の自立と社会参加及び生産力アップなどに直結する事業。

- 【1、一般助成】
- (1)障がい者施設の改善、整備、備品などの購入に対する助成。
 - (2)各種会議、講演、研修事業に対する助成。
 - (3)各種出版、啓発活動などに対する助成。
 - (4)各種調査、研究事業に対する助成。
 - (5)文化事業、スポーツ活動などに対する助成。

【2、障がいのある大学生に対する奨学金の供与】
●助成の額／1は1件あたり上限100万円。2は月額5万円(年間60万円。返済の必要はありません)

●応募方法／1は助成金申請書を郵送にて申込む。2は奨学金申込書に必要事項を記入し、所定の書類を取り揃えのうえ、郵送にて下記まで。なお、助成申請書は申請書は下記まで請求するか、ホームページからダウンロード。奨学金申込書用紙は下記までFax、E-mailにて申込むこと。

●問い合わせ先／(財)ヤマト福祉財団(福祉助成金事務局)
104-0061 東京都中央区銀座2-12-15
Tel.03-3248-0691 Fax.03-3542-5165
E-mail y.zaidan@yamatofukushizaidan.or.jp
ホームページ <http://www.yamatofukushizaidan.or.jp/>

「川に学ぶ」活動助成

●受付締切／4月22日(金)必着
●助成の対象となる団体／市民団体、学校等の非営利団体。
●助成の対象となる活動／1、河川・海岸等の水辺や、水辺に関わる地域をフィールドとして行う自然体験や環境教育等の活動。
2、河川・海岸等に関係するセミナーやスクールの実施、情報の提供等の活動。なお、河川清掃のみを目的とした活動等は対象外。

●対象事業の期間／平成17年4月23日～平成18年1月31日
●助成の額／1活動あたり上限10万円。助成件数は80件程度。
●応募方法／応募様式はホームページからダウンロード。
●問い合わせ先／財団法人リバーフロント整備センター「川に学ぶ」活動助成事業事務局(担当:研究第一部:斉藤、辻、茂木) 102-0082 東京都千代田区一番町8番地 一番町FSビル Tel.03-3265-7121
Fax.03-3265-7456 ホームページ <http://www.rfc.or.jp/>
※Fax、E-mailでの取り合わせは受け付けていません

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

各地のネットワークから

▶▶▶ 鈴鹿市 ▶▶▶

特定非営利活動法人市民ネットワークすずかのぶどう (代表理事:井田輝門)
鈴鹿市白子駅前18-15 Tel.&Fax.0593-87-0767
E-mail budou@mecha.ne.jp ホームページ <http://www.budou.gr.jp>

宮崎からまちづくりの活動を行っているグループが来られました。

2月13日(日)10時から、すずかのぶどう雑貨店に、宮崎県でまちづくり活動を行っている「宮崎ITボランティアの会」というグループが交流視察に来られました。宮崎県では15年度より地域のIT関連のボランティア団体と企業、行政などと取り組みの組織づくりをし、地域の高齢者や障害者へのパソコン講習会などを行っています。このような活動を通して、単にITの活用だけを教え、学ぶだけでなく、地域のまちづくりの一つの方法と考え、推進していくために、まちづくりを担う人材の育成が必要と考えているとのことで、各地の活動の状況を参考とするため、三重県に来られました。

今回はユニバーサルデザインのまちづくりを進めている「ハートフル・アクセス」と「まちづくりUD桶のグループ」「UDまちづくりの会香良洲」と「すずかのぶどう」が集い、交流を深め、活動の状況、課題、人材育成、会員増強、他団体との交流などについて話し合いました。

ちなみに、私たちには日南海岸という南国のイメージがある宮崎県は三重と同じように海岸線に沿って細長い県域であり、宮崎市人口は約30万人ということです。

(井上苑枝)

写真: 交流視察の様子

いせ市民活動センター
パーティいせ情報

■休館日/毎週水曜日 (その日が祝日に当たるときは、翌日以後の休日でない日)
 ■開館時間 午前9時から午後10時

自主事業あれこれ展開中!

パーティでは、NPO運営の利点を活かし、柔軟な姿勢で自主事業を企画しています

3月の予定から…
★好評! 災害支援
チャリティコンサート

3月21日(祝)会場: シティプラザ
 第1部14:00~ 第2部18:00~
 ●音楽関連の活動をしている登録団体や、地元有志が出演します。

★会計相談

年度末! 税理士さんがNPO法人をはじめとする登録団体さんの会計に関する相談にのってくれます。

3月20日(日) 13:00~
 ●1回30分/500円

★市民活動に関わる団体、個人からの相談

行政との連携や、その他の団体との橋渡しなども行っています。

★市民活動交流会

登録団体の活動発表や、交流や活動をさらに広げる機会づくりを考えています。

企画中心
(日程未定)

その他、できることから少しずつ…前進しています。
 伊勢周辺の活動団体のみなさま、ぜひ、登録を!

随時受付けています…

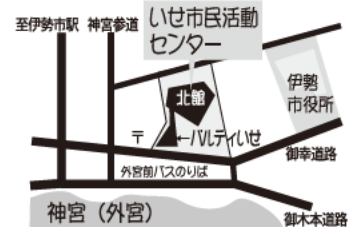
★視察・研修の受け入れ

「指定管理者制度」についての視察の場合など、必要書類などの資料データも用意しています (一部有料)
 ※行政対象のNPO・協働研修も実施しています。

ホームページもご覧ください <http://skc.e-ise.net>

いせ市民活動センター
パーティいせ

伊勢市岩渕1丁目2番29号
 TEL 0596-20-4385
 FAX 0596-20-4386
 Email/skc@e-ise.net



このコーナーは伊勢志摩NPOネットワークの会が担当しています
<http://www.po-npo-n.com>

W.T.Aまちづくりセンター情報

〒518-0866 伊賀市上野小正町3045-1
 TEL: 0595-24-0612, 090-3302-0627 伊賀 中庭 3丁
 Fax: 0595-22-0072 午9時~16:00時 web: www.wta-np.jp

元日にしようよ
 伊賀市市民活動センター
 伊賀市市民活動センター
 伊賀市市民活動センター

伊賀市市民活動センター
 伊賀市市民活動センター
 伊賀市市民活動センター

伊賀市市民活動センター
 伊賀市市民活動センター
 伊賀市市民活動センター

伊賀市市民活動センター
 伊賀市市民活動センター
 伊賀市市民活動センター

伊賀市市民活動センター
 3月9日(木) 18:30~
 伊賀市市民活動センター
 担当者 伊賀市市民活動センター
 伊賀市市民活動センター

伊賀市市民活動センター
 毎月1日、情報誌「伊賀
 びんご」の編集委員会
 伊賀市市民活動センター
 伊賀市市民活動センター

自治基本条例勉強会
 伊賀市は2/24からスタート
 自治基本条例について
 伊賀市市民活動センター
 伊賀市市民活動センター

自治基本条例勉強会
 場所: 伊賀市文化センター
 (道の駅伊賀中庭)
 会場: 伊賀市市民活動センター
 伊賀市市民活動センター

3月20日(日) 13:00~
 伊賀市市民活動センター
 伊賀市市民活動センター
 伊賀市市民活動センター

伊賀市市民活動センター
 4月1~5月31日 伊賀市市民活動センター
 伊賀市市民活動センター
 伊賀市市民活動センター

がんばれネットワーク

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。ボランティアではなく企業家としてNPOについて語ってくださった速水亨さん。速水さんが「一生懸命、活動されていますよ」と紹介してくださったのは東紀州地方のキーパーソン、中井さんです。

地元にも凄い世界がある…燈籠祭

……中井さんが地域活動に関わるようになったきっかけは？友人に紀伊長島町商工会青年部（以下、商工会と略）に誘われた87年が、たまたま13年振りに燈籠祭を復活させた初年度でした。会議に行くのと50人ぐらいのメンバーが紀伊長島弁で怒鳴りながら、侃々諤々やっている。もう大人気も何もないというか（笑）。ケンカする勢いで話しているのに、誰も燈籠祭の会議から出ていこうとは思わない…。その様子が新鮮だったし、みんなの熱さに感化されたんですね。「地元には凄い世界がある。捨てたもんじゃないなあ」って。……13年振りの燈籠祭復活。中心になったのは？商工会青年部と青年団が中心でした。燈籠祭はこれまでに3回ほど中断しているのですが、僕は子どもの頃に見た燈籠祭を覚えているんですね。だから、やっぱり夏には祭りが無いとダメだという想いがありました。

……当初から町おこしを目的にしていたのですか？当時、中心メンバーだった友人は「活性化とか、意味はあんまり考えてない。祭りをやれば町も元気が出るし、ただ単にやりたいんだ」と言っていましたね。非常に純朴な、若者のエネルギーに溢れてました。連日連夜会議で、朝の5時まで続いたこともありました。当時の記録ビデオにもその様子が残っています。

……中井さんの担当は？燈籠のデザインとミニチュアづくりを3年目まで受け持ちました。何か僕にできることは無いかと考えた時に、自分の仕事である歯科の材料を使って、燈籠のミニチュアを作ることを見つけたんです。昔の燈籠づくりのマニュアルもノウハウも残っていませんでしたから、どうやって作ればいいのか、みんな悩んでいたんです。その時に、ミニチュアがあれば設計図が描けるなと思ったんです。1回目は竜童組を呼んで「竜と竜童」というテーマでした。

……石膏でつくったのですか？石膏と針金で基本をつくり、歯の型などを取るワックスというロウでウロコなど細部を作っていました。わざわざ緑色のワックスでウロコを作ったりね（笑）。樹脂を使って、牙なども細工しましたよ。現物は35m大を想定していて、ミニチュアはその50分の1でした。……すごい努力ですね。

ミニチュアをみんなに見せたら、製図も描けと言われて（笑）。絵を描くのも好きだったので、方眼紙に正面図や上方から見た図などを

描きました。大工さんにそれを見せたら「これがあれば作れる」と言ってもらえて、制作に至ることになりました。

……制作はいつぐらいから始めるのですか？1年目は5月末から。翌年からはゴールデンウィーク明けに決起集会を開いて、作業を始めています。2カ月間、スケジュールはぎっしりです。

……何時から作業を始めるのですか？作業は午後7時から始まるのですが、これが大変でした。僕の歯科医院は夜7時まで診療。でも、作業に間に合わせようと思うと6時には終わらないと間に合わないのです。おまけに設計担当でしたから、仲間から「早く来て、指示をして欲しい」と言われ、結局5～7月の3カ月は診療時間を1～2時間繰り上げていました。

……生活にも影響してきますよね。当然、収入はダウンしました。それに県内各地に交渉に行くために、休診させてもらうことも多くて…。4回目の祭りでは聖飢魔IIのコンサートを入場無料で行ったのですが、この時は前日に「明日、東京へ行ってくれ」と連絡が来て困りました。祭りに関わるまでは不幸事か、自分がインフルエンザで倒れるぐらいしか休むことはなかったのですが…。それだけ、あの時は熱くなっていたのだと思います。

……何が魅力だったんでしょう？仕事とは関係の無い、年齢の上下も関係無い仲間と会えるというのが、なんかこーいいいんですよ。時にはケンカになって「もう俺は来ない！」ってなることもあります。結局は引きつけられて、また来てる。非常に新鮮な毎日でした。あと自分が知恵を出すことが実現していく。自己実現の場を得たという感がありました。だからこそ、仕事や時間、家族など大切な物をちょっと調整してでも、これをしたいという気持ちが優先していたのでしょうか。

……デザイン担当以後、どのような役割をされたのですか？プロデュース室という新しい部署をつくりました。何ヶ月も苦勞して作る大燈籠ですが、ただ海に浮かべるだけでは5～10分も見ればもう十分という気分になってしまい、燈籠自体の値打ちが活かされていないと感じたんです。それで燈籠を動かしたり、BGMを工夫したりする演出をしようと思いました。

……燈籠をどうやって動かすのですか？クレーンです。大きな燈籠というのなら青森のねぶた祭りや山車など、各地であります。動く燈籠は全国でも例が無かったと思います。今も続く民話シリーズでは、民話を語りながら、場面に合わせて燈籠を動かしています。例えば、斬られると電気がパッと消えたり。15分ぐらいの絵巻物語に演出したんです。

……今はどのように関わっているのですか？実行委員に名前は連ねていますし、寄付集めなどを担当していますが、ここ1年ぐらいは現場に足を運ぶことはなくなりました。時間的にも難しいし、何より若い人たちが中心になってやるべきだという想いがあります。

みんなが気軽に参加できる会議運営

……燈籠祭以外の活動は？燈籠祭をきっかけに行政を始め、いろいろな繋がりができました。その結果、様々な企画や会議に呼ばれるようになりました。僕自身は



中井孝佳

さんに

聞く

特にライブワークと言えるような分野が無いのですが、あちこちから呼ばれるままに出て行って、自分なりの意見を出してきました。自分でも多少は役に立てたという実感があると嬉しくて、それが続いていったように思います。

……燈籠祭の他に商工会青年部部長、尾鷲青年会議所理事長など、役職も経験されていますね。

呼ばれたら出ていった結果、デパートみたいになってしまいました(笑)。でも、多くの会議に参加したことで、会議の大切を学んだし、会議の使い方の上手下手なども気づきました。

……上手な会議とは?

会議には種類があります。総会のように一堂に会して、議案を決議するものから、役員会のように後で公開はするけれど、一部の人が先行して会の方針を決めるもの。あと、討論会のように自由に意見を出し合うもの。その種類によって事項書などの準備も、発言の仕方も変わってくることを参加者が理解していることが大切です。なかには、自分の講演の様にながながと、意見を言う方もいますから(笑)。行政と市民との協働の場に出ていくと特にそれを感じます。行政の方はまちづくりのプロですから、会議の使い分けも意識されています。あと、自分のポリシーやポジションもわかっていないと、この辺りは自分が会の長を務めさせてもらって、わかってきたことです。自由に意見を言うだけではまとまりがなかったり、せっかくの良い意見が埋没してしまうなど、効率も悪いですね。

今までしてきたことをリセットしても、 また同じことをした と思います。

……参加者全員に理解を求めるのは難しいのでは?

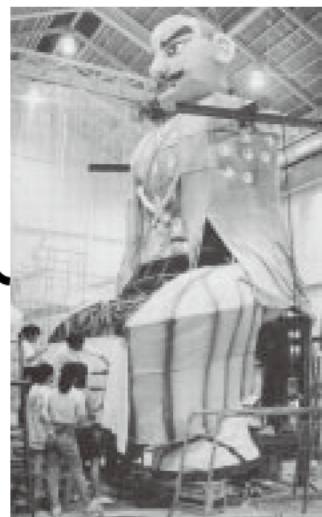
実際の会議の場では言えません(笑)。「声がかかったから来てやったのに!」って怒られて、出てきてくれなくなります(笑)。自分が会議を進行する時に気をつけているのは参加しやすいように壁を無くすこと。進行はただの司会じゃなくて、コーディネーターの役割も担っているんですね。

……様々なタイプの会議を経験したからこそ、そう思うのでしょうか? 老若男女、みんなが気軽に参加できる会議運営が私の課題です。だからといって私が「こうしてください」と教えるのではなく、みんなの意識が高まる中で自然に気づいていくことだと思いますし、今はそれができつつあると思います。三重県内で活動している素晴らしい方たちを見ていると、彼らの活動に参加している人は自然にノウハウを学んでいるんですね。その様子を見ていると、自分が燈籠祭実行委員長をした時の進行ぶりはダメだったなと思います(笑)。……なぜ?

最初に「コンセプトをきちんと話し合っ決めてないとダメだっ!」で議論したのです。でも、今思うと雑談している雰囲気、会議を併せていくのが自分の役割だったと思います。自分も最初はただやみくも

に楽しくて頑張っていたのに、何回か経験してくるうちに、大上段に構えてしまっていた。話し合いを強制すると、気軽には入ってこれなくなります。自分自身が壁になっていたなと思います。

……気軽な会議づくりの具体的なノウハウはありますか?



1992年の燈籠祭、準備の様子です。祭のメインである大燈籠を作っています。

誰にでもわかるように説明するのが、会議を進めていく能力だと思っています。知恵というより、話術でしょうか。楽しいムードを作ることも僕は大切だと思っています。元々、僕は人を笑わせたりするのが好きなんです。高校生の時に、吉本新喜劇の脚本を、自分が道化役になって上演したこともありますし、大学生の時はコンパでブルースリーのモノマネなどをしてました(笑)。

……中井さんが思う活動の難しさは?

市民活動の難しい所は「仕事」じゃないということです。だから、「もう会議に来ない」と言って辞めれば、それで終わりというところもあります。その一方で、議会でも掌握していないような分野のまちづくりを行えるだけの力も持っています。イギリスやアメリカなど海外では市民の権利が主張され、市民活動が大きなウェイトをしていますが、日本も少しずつそうなるようになっていく感があります。

自らの活動を見つめ直す

……いろいろ反省点をお話いただきましたけど、今後は?

これまでの経験を見つめ直したうえで、自分の立場や市民活動に対するウェイトを考えたいと思っています。やるなら、一生懸命やらないと気が済まないという性分ですから、市民活動のために仕事や家族との時間を調整してきました。また、それだけの時間を費やすのだから、自分も納得がいくだけのことをしたいと思ってずっと活動してきました。でも、仕事と市民活動のバランスを考えて問自答すると、どうしても葛藤が出てきてしまうんですね。それに最近では自分の活動が、時代の流れの中でどれだけの価値があったのかが気になるようになってきました。若い時は祭りに参加して、当日が終わると、その達成感で感激できました。でも今は、全員がきちんと納得してくれたか、運営の内容や資金運用は間違っなかったか…。いろいろ気になって、新しいことに「よし」と乗れなくなってきました。

……中井さんの活動は十分、地元の方に納得されていると思います。中井さんの言葉も会議などで重用されるのでは?

確かに僕が発言すると「中井さんがそう言うなら、問題ないわ」と思われたりすることが心地良かった時もありますが、その辺は大いに反省しています。今は、自ら隠居しようというか、自分が発言するのではなく、若い人たちに任せようと思っています。でも、中には自分の意見を聞きに来てくれる後輩もいますから、それは現場を離れた自分にとっては凄く嬉しかったですね。

……これまでの活動を後悔されているのですか?

これまで18年ほど活動してきましたが、その間に使った手帳は全部置いてあります。これによると多い時には1年で、122回も会議に出ていました。この時間を全て、仕事に費やしていたら思ったり死みますね(笑)。

……でも、今の方が良いでしょう?

その時々によって答えが違っんです(笑)。でも、今までしてきたことをリセットしても、また同じことをしたくろうと思います。友人に誘われなくても、燈籠祭に参加したくろうなって。

中井孝佳
住所/北牟婁郡紀伊長島町東長島180-2
Tel.05974-70648

中井孝佳さんはこの人を紹介します。

田上 至さん
自然を愛する海山メダカの会や海山めだかの学校など、自然環境分野で活躍されています。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送りください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknp@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。